



# AOMORI HOKUTO

第2830地区 青森北東ロータリークラブ会報

K.R.“ラビ”ラビンドラン(2015~2016 年度会長)

第 2830 地区ガバナー 鈴木唯司



□会長：加藤 彰 □副会長：本間義悦 □幹事：寺田 誠 □広報：遠間善弘  
□例会日：毎週水曜日 PM12:30~PM13:30 □例会場：ホテル青森 □事務局：青森市堤町 1-1-23 ホテル青森内 TEL017-735-2060

Be a gift to the world 世界へのプレゼントになろう

第 2436 回例会 (2016. 6. 29) No.47



～ 最 終 例 会 ～

- R I のテーマ唱和
- 点 鐘
- 四つのテスト唱和
- 創立 50 周年記念歌奏風歌斉唱
- ゲスト紹介



ファム フォン タインさん (米山奨学生)

- ビジター紹介 (敬称略・昼受付)  
青森RC 蝦名春美 木下雄策  
青森東RC 波多野美彦  
青森モーニングRC 葛西義明

### ●会長の時間・会務報告

#### ○「最終例会挨拶」の要約

長くて、忙しい一年が終わろうとしています。50 周年記念式典・祝賀会では、鳴海孝仁実行委員長を中心に、皆様方の一丸となったご協力の基、成功裏に終える事ができました。誠にありがとうございました。クラブテーマの「50 周年記念事業を成功させよう」は無事に達成出来たと思います。一年を振り返ってみても、50 周年一色の一年でした。長くて、忙しい一年も、50 周年記念式典・祝賀会が終わってみると、あつ

という間の出来事で、ちょっとした寂しさも感じられます。また、50 周年を区切りに、何人かの方が退会される事は誠に残念でありませんが、長きに渡り、我がクラブ支えていただきました事に、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

2015 年の新年を迎えるに当たって、イタリア中央アルプスの田舎町ボルミオのホテルのサイン帳に「細事に神が宿る」「God is in the details」と書き込みました。この言葉を目標に、例会は全て出席しよう！例会以外の行事も全て出席しようと決めましたが、葺町小学校の球根引き渡し式、3 RC 新旧会長幹事会の 2 つにはどうしても出席できませんでした。ソウルの世界大会にも参加しました。例会数 47 回、例会外の会合 71 回、計 118 回の会合に出席しました。三日に一回の割合で、ロータリーでした。

古き時代の例会に倣って、会長の時間を設けさせてもらって、30 回もお話をさせていただきました。本人は結構楽しんで話していたのですが、会報に載せる要約文を書くのがかなり大変で、重圧となりました。国際情勢は増々混沌としてきました。イギリスの EU 離脱やら、アメリカ大統領選挙やら、EU 離脱派のジョンソン前ロンドン市長と大統領候補のトランプはよく似ていますね。はっきりとした物言いは、勇ましく、単純で解りやすいのですが……。日本でもありましたね。One phrase politics で人気がありました。政治はもっと多様性に富んだ

ものだと思います。勇ましくて、解り易ければ良いものではありません。日本の周りも、領土拡張を狙う、わがままな二つの大国と、暴走しそうな危険な国がありますし、世界中もだんだん、内向きのナショナリズムが台頭し、国家、地域の自己主張がどんどん強くなってきています。また、格差社会が益々広がり、貧困が拡大し、不穏な世界の流れになってきました。このような情勢の時は、勇ましく、単純に解りやすい政治家が支持されやすいのですが、それは非常に危険な事だと思います。これからは、解りにくく、めんどくさそうな事、つらい事を言う政治家が必要です。勇ましさと、明瞭さだけではだめです。多様性 (diversity) と、ロータリアンの toleration (寛容) の心が非常に重要になって来ると思います。

サブテーマには「Back to Basics with the new Winds」:「基本に帰ろう 新たな風と共に」を掲げましたが、the new Winds が吹き始めたかは良く解りません。しかし、皆で苦勞しながらも楽しく迎えた 50 周年は、一人一人の心の中に伝統の重みとプライドを色々なかたちでもたらし、クラブの中にも少しですが、新しい風が吹き始めたのではないかと思います。これらの新しいそよ風が協力し合って 51 年目を迎え、75 周年、100 周年へと続いて行く事を願ってやみません。

先日、2016 年規定審議会決定報告書が発表されました。国際ロータリーの進む道が、大きく変わって来たと思います。日本のロータリアンが非常に大切にしていた職業奉仕を中心に据えた奉仕活動の方向が、社会奉仕・国際奉仕活動を中心にした一般的な奉仕団体の歩む道に変わってきているように思えてなりません。社会情勢や時代が変わったのだから、その流れに全てを合わせていかなければならないのでしょうか。中国の故事に「船に刻みて剣を求む」と言う諺があります。春秋・戦国時代、中国の楚の国で、乗っている舟から剣を落とした人が、後で探すつもりで、船縁に目印をつけ、船が岸に着いた後で、その剣を探したが剣は見つからなかったと言う故事。古い考えやしきたりにこだわり、

時代の移り変わりに気づかない事を論ず諺ですが、国際ロータリー 111 年の間に培って来た理念は軽々に変えるべきではないと思います。一つ一つの改革に関して、「何のために？」を常に心に問わなければならないと思います。2016 年規定審議会決定は、「会員を増強するために？」「若い会員を入会し易くするために？」「活動資金を増やすために？」を強力に進めるための変更だと思います。現実、これらの方法論は非常に重要な事ですし、会員増強は喫緊の課題です。しかし、もう一つ心に問わなければならないのは「何のためにロータリー活動をするのか？」という事です。ただ単に会員が増えて、活動資金が潤沢になれば良いという事だけではないと思います。「ロータリーの目的」を思い出して下さい。今一度、基本に帰らなければならないと思います。今年度のサブテーマに掲げた「Back to Basics with the new Winds」 「基本に帰ろう 新たな風と共に」です。我がクラブが 51 年目の扉を開き、新たな歩みを続けていくために、「変えてはいけないもの」、「時代と共に変えていかなければならないもの」をしっかりと見極めていかなければなりません。それこそ、中国の故事「不易流行」の精神が大切になって来ると思います。来期の我がクラブの課題も、会員減少問題、3RC 事務センター運営費各クラブ負担問題、会員減少による合併問題等、沢山の問題が出て来ると思います。これらの問題を解決するためには方法論だけに終わるのではなく、「何のためにロータリー活動をするのか？」と言う問いを忘れないでいただきたいと思います。

二度目の会長も、もう終わります。最近、会長と呼ばれることが普通に心地よく、来月からは会長と呼ばれなくなる事は、ちょっと寂しい気がしてなりません。最後に、50 周年を迎える事ができた安堵、喜びと共に、一年間、至らぬ会長を支えていただきました寺田幹事、理事・役員、クラブの皆様方に心より感謝申し上げます。Old soldiers never die, but fade away ありがとうございます。

#### ●幹事報告

・次回例会は7月6日(水)通常例会、新年度役員就任挨拶です。また、例会終了後に4階写場にて記念撮影がごさいます。

・ロータリーレートのお知らせ

7月1日より1ドル106円へ変更となります。(現行1ドル110円)

・弘前RCより「創立60周年記念誌」(回覧)

・ICU国際基督教大学より「学報No.38」(回覧)

●会員総数 36名 内免除申請会員3名

●本日の出席率 33名中23名 69.70%

●6月15日確定率 33名中25名 75.76%

●メイクアップ

6月23日 齊藤幸悦 蒔苗亜希子 加藤彰  
鳴海孝仁

(三RC新会長・幹事会)

●委員会報告 なし

●役員退任挨拶

加藤彰会長  
本間義悦副会長  
寺田誠幹事  
上野浩之副幹事

●バッチ交換





いつも笑顔で ニコニコBOX (敬称略)

- ・加藤彰会長を始め、理事役員の皆様、一年間ご苦勞様でした。
- ・ファミ フォン タインさん、ようこそいらっしやいました。

出席いただいた皆さんより頂きました

- ・一年間、至らぬ会長を支えていただきましてありがとうございます。

Old soldiers never die, but fade away.

加藤 彰

- ・ふなれな幹事で会長はじめ、皆様のおかげで一年間努めました。大変ありがとうございました。

寺田 誠

- ・市立葛町小学校より去年11月6日に球根と肥料を贈呈した活動についてお礼状と写真が届きました。参加した方ご苦勞様でした。回覧致します。

佐々木彰造 中村洋一

- ・ロータリーバッチ忘れました。 根井力夫